

令和3年度 第5回

希望郷いわてモニターアンケート

課題名	特殊詐欺に関する意識調査
-----	--------------

令和3年12月

岩手県警察本部生活安全企画課

※この質問票は控えとしてお持ちいただき、回答用紙に回答を御記入ください。

# 特殊詐欺に関する意識調査

岩手県警察本部生活安全企画課

## I 趣旨

令和2年中の、岩手県内のオレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺被害の認知件数は54件、被害額は約1億5,000万円に上ります。

岩手県警察では、特殊詐欺被害を防止するため、関係機関と連携して各種対策に取り組むとともに、多様な媒体、機会において広報啓発活動を行っているところですが、今後の取組の参考とするため、今回皆様アンケートをお願いするものです。

御多忙のところ恐縮ですが、御協力いただきますようお願い申し上げます。

※アンケートに御回答いただく前に、別添「特殊詐欺の手口」を御覧ください。

インターネットを利用できる環境にある方は、以下URL（QRコード）からも確認できます。

【警察庁・SOS47 特殊詐欺対策ページ】

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/>

キーワード検索

警察庁 特殊詐欺の手口と対策

検索



## II 設問（以下の設問について、別紙回答用紙の該当欄に御記入願います。）

【特殊詐欺に関する意識・経験】

問1 特殊詐欺に対する印象で最も近いものを1つ選んでください。

- ① 被害に遭わないようにいつも気を付けている（問3に進んでください。）
- ② ときどき気を付けている（問3に進んでください。）
- ③ ほとんど気にかけることはない（問2に進んでください。）
- ④ 全く意識することはない（問2に進んでください。）

問2 問1で「③ほとんど気にかけることはない」又は「④全く意識することはない」と回答した方に伺います。

そのような印象を持っているのはなぜですか（なぜだと思えますか）。当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① だまされない自信があるから
- ② 自分には関係ない（だまされる機会がない）と思っているから

- ③ 詐欺の手口を詳しく知っているから
- ④ 困りごとがあった際にいつも誰かに相談するから
- ⑤ 特に理由はない
- ⑥ その他（具体的に御記入ください。）

問3 自分又は家族・知人が特殊詐欺の被害に遭った又は遭いそうになったことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 経験がある（問4に進んでください。）
- ② 経験がない（問5に進んでください。）

※「特殊詐欺」か判断がつかない金銭、権利等に係る第三者とのトラブルについては、該当するものとして「①経験がある」と回答してください。

問4 問3で「①経験がある」と回答した方は、被害やトラブルの内容を御記入ください。

問5 万が一、特殊詐欺の被害に遭ってしまった場合の対応について伺います。

(1) 警察への相談や被害の届出<sup>※</sup>をしますか。当てはまるものを1つ選んでください。

【被害の届出（被害届の提出）とは】

被害を申告し、犯人の処罰意思を示すもの。事後捜査（聴取、関係書類の提出等）に御協力いただき、犯人が起訴された場合は、公判出廷を求められる可能性もあります。

- ① 被害届を提出する（問6に進んでください。）
- ② 警察に相談するが、被害届は提出しない（(2)に進んでください。）
- ③ 警察には相談しない（(2)に進んでください。）

(2) (1)で「②警察に相談するが、被害届は提出しない」又は「③警察には相談しない」を選んだ方に伺います。

その理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① だまされたことが恥ずかしいから
- ② 大ごとにして家族、知人などに知られたくないから

- ③ 精神的負担があるから
- ④ 捜査協力による時間的負担があるから
- ⑤ 犯人検挙の可能性が低いと思うから
- ⑥ 警察に協力したくないから
- ⑦ その他（具体的に御記入ください。）

問6 特殊詐欺被害の多くが、自宅固定電話機への犯人からの連絡をきっかけとする被害であることから、警察では犯人からの電話に出ないための対策として、ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能の活用、防犯機能付き電話機<sup>\*</sup>の設置を呼び掛けています。

**【防犯機能付き電話機】**

番号非通知電話や登録番号以外の電話番号の着信拒否設定、自動録音機能、相手方への警告メッセージ（「この電話は録音しています。」など）の機能がある電話機。

(1) 自宅に固定電話機を設置していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(2)に進んでください。）
- ② ない（問7に進んでください。）

(2) (1)で「①ある」と回答した方に伺います。

設置している電話機の機能や普段行っている防犯対策について、当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① ナンバーディスプレイで不審な電話番号には出ないようにしている
- ② 常に留守番電話に設定して相手を確認してから電話に出ている
- ③ 防犯機能付き電話機を設置している
- ④ 電話機付近の見やすい場所に、警察官や関係団体が配布されたチラシやカードなどの注意喚起物を設置（貼付）している
- ⑤ 電話機付近の見やすい場所に、最寄りの警察（警察署、交番・駐在所）や消費生活センターなど、困ったときの連絡先のメモを設置（貼付）している
- ⑥ 特に対策をとっていない
- ⑦ その他（具体的に御記入ください。）

【警察の特殊詐欺被害防止広報の認知度】

問7 警察庁では、俳優（歌手）の杉良太郎氏を中心とした、プロジェクトチーム「ストップ・オレオレ詐欺47（通称：SOS47）」を結成し、イベント出演、ポスター・動画の制作等による広報啓発を行っています。

SOS47の存在、活動内容を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① チームの存在、活動内容を知っている
- ② チームの存在は知っているが、活動内容は知らない
- ③ 知らない



問8 岩手県警察では、高齢者を中心とした幅広い世代に「詐欺に気づく力」を身につけていただくため、令和3年6月から、元プロボクシング世界王者の八重樫東氏（本県出身）を起用した特殊詐欺被害防止テレビCMを放送（IBC岩手放送、テレビ岩手）しています。

※CM動画は、県警YouTubeチャンネルで公開しています。インターネットを利用できる環境にある方は、以下URL（QRコード）からも確認できます。）

【岩手県警察YouTubeチャンネル】

<https://youtu.be/ujX8lKch480>

キーワード検索

岩手県警察 特殊詐欺被害防止CM

検索



(1) 本アンケート前、前記テレビCMを見たことはありましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある
- ② 見たことはない

(2) 前記テレビCMに対する印象で当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① インパクトがある
- ② 説明（ナレーション、字幕）がわかりやすい
- ③ キャッチフレーズ（「いわて防衛」）が良い
- ④ 出演者が適任である
- ⑤ 良いところはない

- ⑥ 見ていない（視聴環境がない）のでわからない
- ⑦ その他（具体的に御記入ください。）

**【対策・広報全般について】**

問9 今後、特殊詐欺被害をなくすために、岩手県警察にはどのような対策、広報が求められると思いますか。御意見・御要望を御自由にお書きください。

最後に、あなた御自身について伺います。当てはまる項目をお選びください。

**1 年 齢**

- ① 29歳以下                      ② 30～39歳                      ③ 40～49歳
- ④ 50～59歳                      ⑤ 60～69歳                      ⑥ 70歳以上

**2 性 別**

- ① 男性                              ② 女性

**3 職 業**

- ① 会社経営・役員              ② 会社員                          ③ 団体職員
- ④ 自営業・自由業              ⑤ 農林水産業                      ⑥ パート・アルバイト
- ⑦ 主婦（夫）                      ⑧ 学生                              ⑨ 無職
- ⑩ その他（                              ）

◎ 御協力ありがとうございました

# 特殊詐欺の手口

## オレオレ詐欺



親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）手口です。

## 預貯金詐欺



自治体や税務署の職員などと名乗り、医療費などの払い戻しがあるからと、キャッシュカードの確認や取替の必要があるなどの口実で自宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取る詐欺です。

## キャッシュカード詐欺盗



警察官などと偽って電話をかけ「キャッシュカード(銀行口座)が不正に利用されている」「預金を保護する手続きをする」などとして、嘘の手続きを説明した上で、キャッシュカードをすり替えるなどして盗み取る手口です。

## 架空料金請求詐欺



インターネット事業者などを名乗る犯人から、未納料金が発生しているなどの名目で、携帯電話にメール(SMS)が送られたり、法務省や裁判所などの名称で自宅にはがきが送付されることにより、実際には使用していない料金を支払わせようとする詐欺です。

## 還付金詐欺



自治体、年金事務所の職員を名乗り、医療費・保険料の過払い金や、一部未払いの年金があるなど、お金を受け取れるという内容の電話をかけてきます。被害者が犯人の指示通りにATMを操作すると、実際には犯人側の口座にお金が振り込まれるという詐欺です。

## その他の手口



融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺などの手口もあります。